

ただし…

接続する親機について



「らくらく無線スタート」マークが、親機本体に表示されている場合は、「らくらく無線スタート対応機種用」の「無線LANつなぎかたガイド」(別紙)を参照してください。マークがない場合は、本紙をご参照ください。
ただし、マークがない場合でも、「らくらく無線スタート」に対応できる場合がありますので、下記を参照してください。

お問い合わせ先

本商品の機能や取り扱い方法などでご不明な点や初期不良、欠品、故障などがありましたら、親機側の取扱説明書などに記載のお問い合わせ先にお問い合わせください。

Windows®、Windows Vista®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
JavaScriptは米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2007-2010, © NEC AccessTechnica,Ltd. 2007-2010

無線LAN つなぎかたガイド

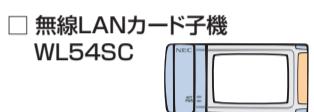
★本紙では、ホームゲートウェイやモデム(無線LANアクセスポイント)を「親機」、無線LANアダプタ子機(WL54SC)を「子機」と呼びます。

無線LANをご利用になるには、本紙を参照して、接続・設定を行ってください。

※親機側でインターネットへの接続を確認してから、無線LANの設定を行うことをお勧めします。(親機側の接続設定については、親機に添付の「つなぎかたガイド」または「接続設定ガイド」を参照してください。)

箱の中身をチェックしよう

本商品が到着したら、すぐに添付品をご確認ください。不足しているものがありましたら、2週間以内に親機側の取扱説明書などに記載のお問い合わせ先にご連絡ください。

□ 無線LANカード子機
WL54SC

□ 取扱説明書(別冊)

□ 無線LANつなぎかたガイド(2枚)

- 「らくらく無線スタート」非対応機種用(本紙)
- 「らくらく無線スタート」対応機種用(別紙)

□ CD-ROM(ユーティリティ集)



I パソコン側での準備をしよう

★本紙では、ホームゲートウェイやモデム(無線LANアクセスポイント)を「親機」、無線LANアダプタ子機(WL54SC)を「子機」と呼びます。

●CardBus(カードバス)準拠のPCカードスロット、LANポートの準備

WL54SCをご利用になるには、CardBus(カードバス)準拠のPCカードスロットがパソコンに装備されていることを確認してください。また、ETHERNETインターフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANポート機能を停止させないと子機のドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカードおよびLANポート機能を停止させてから、設定してください。

●ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止

本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止しない(起動したままでいる)と親機の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。)停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

●パソコンのネットワークの確認

設定する際は、パソコンのネットワークの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」になっている必要があります。

(確認のしかたについては親機の取扱説明書などを参照してください。)

●WWWブラウザの設定

WWWブラウザ(Internet Explorerなど)の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」にしておいてください。(下記参照)

また、JavaScriptを有効にする設定にしておいてください。

(設定のしかたについては親機の取扱説明書などを参照してください。)

■WWWブラウザの設定・確認のしかた

WWWブラウザ(Internet Explorerなど)の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」にします。

右記はWindows Vista®でInternet Explorer 7.0をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の接続環境(ソフトウェアなど)によっても変わりますが、詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorerを起動します。

② [ツール]の[インターネットオプション]を選択します。

③ [接続]タブをクリックします。

④ [ダイヤルアップの設定]の欄で、[ダイヤルしない]を選択します。

⑤ [LANの設定]をクリックします。

⑥ [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LANにプロキシサーバーを使用する]の[✓]を外します。

※プロバイダからプロキシの設定指示があった場合はしたがってください。

⑦ [OK]をクリックします。

2 サテライトマネージャとWL54SC(無線LANカード)のドライバをインストールする

★本紙では、ホームゲートウェイやモデム(無線LANアクセスポイント)を「親機」、無線LANアダプタ子機(WL54SC)を「子機」と呼びます。

サテライトマネージャをインストールする

子機を設定するためのユーティリティ「サテライトマネージャ」をパソコンにインストールします。以下は、Windows Vista®の画面を主な例に説明しています。

1 Windows®を起動して、添付のCD-ROM(ユーティリティ集)をCD-ROMドライブにセットする

[自動再生]画面が表示された場合は、[rundll32.exeの実行]をクリックします。

2 表示された内容を確認し、ご利用のOSに適した「こちらをクリックしてください。」の文字をクリックする

ご利用になるOSを選択してください。



3 表示されたセットアップアイコンをダブルクリックする

<Windows Vista®の場合の例>

[wr_vista_setup.exe]をダブルクリックします。

4 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行]または[はい]をクリックする

ユーザー アカウント制御の画面は、タスクバーに点滅表示される場合があります。点滅をクリックして画面を開いてください。

5 「Aterm WARPSTARユーティリティ」画面で[次へ]をクリックする

6 [次へ]をクリックする



6 [次へ]をクリックする



7 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする

上記条件に同意いただけたら[次へ]を押してください。

8 Windows Vista®/Windows® 7の場合は、この画面は表示されません。手順 2-9にお進みください。

次の画面が表示された場合は、[無線カード/無線USBスティック]を選択し、「らくらく無線スタートで無線LAN設定を行う」のチェックは外して、[次へ]をクリックする



9 表示されたインストール先へインストールする場合は[次へ]をクリックする

インストール先を変更する場合は[参照]をクリックして変更してください。



10 次の画面が表示された場合は、[はい]をクリックする

インストールが開始されます。



11 次の画面が表示された場合は、[はい]をクリックする



12 [READMEの表示]と[サテライトマネージャを常駐させる]にチェックが入っている(✓)ことを確認し、[完了]をクリックする



13 READMEをよく読み、「README」画面を閉じる

インストールが完了し、サテライトマネージャが起動します。

「このCD-ROMについて」HTMLファイルを閉じる

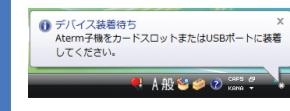
WL54SC(無線LANカード)のドライバをインストールする

以下は、Windows Vista®の画面を主な例に説明しています。Windows XP/2000 Professionalの場合は、を参照してください。

1 未インストール状態のドライバが自動的にインストールされる自動インストールが完了するまで、しばらくお待ちください。



2 通知領域(タスクトレイ)に下図のバルーンが表示される



3 WL54SC(無線LANカード)を取り付ける



4 通知領域(タスクトレイ)に下図のバルーンが表示される

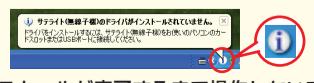


5 CD-ROMを取り出す

Windows® XP/2000 Professionalの場合は、[ドライバのインストール]の画面は表示されません。

通知領域(タスクトレイ)に[サテライト(無線子機)]のドライバが正しくインストールされました。

ドライバのインストールが自動的に開始されます。



インストールが完了するまで操作しないでください。

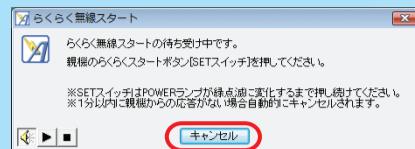
裏面につづく

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

親機に接続しよう

親機との無線設定を行います。

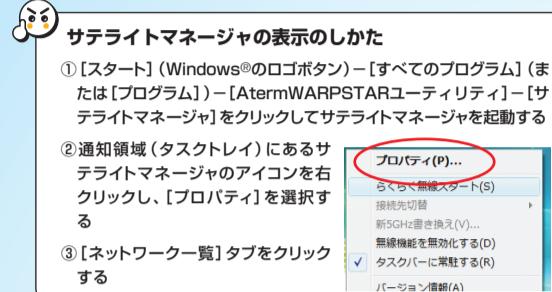
次の画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックする



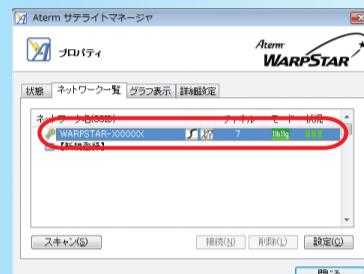
※Windows® XP/2000 Professionalの場合は、表示されません。手順③-2へお進みください。

2 サテライトマネージャを起動し、「ネットワーク一覧」の画面を表示する

※Windows® XP/2000 Professionalの場合は、自動的に表示されます。(表示されない場合は、④の手順で表示してください。)



3 親機のネットワーク名(SSID)をクリックする



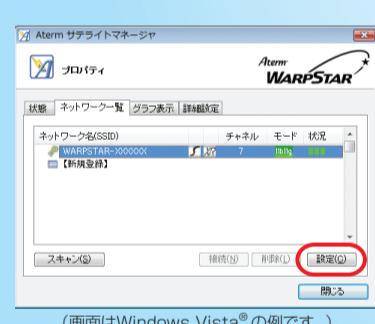
※複数の親機がある場合は、ネットワーク名(SSID)も複数表示されます。
※親機の無線LAN設定で「ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)」が有効になっていると、ネットワークの一覧にネットワーク名(SSID)が表示されません。
※親機のネットワーク名(SSID)が表示されない場合は、[新規登録]を選択して[設定]をクリックし、手順③-5の①へ進んで[ネットワーク名(SSID)]の欄に直接ネットワーク名(SSID)を入力してください。



※装置図およびラベルは一例です。

4 [設定]または[親子同時設定]をクリックする

[Windows Vista®/Windows® 7の場合]
[設定]をクリックしてください。



(画面はWindows Vista®の例です。)

[Windows® XP/2000 Professionalの場合]
親機も同時に設定する場合は「親子同時設定」を、子機のみ設定する場合は「設定」をクリックしてください。
→親機底面に無線LAN設定ラベルがある場合は、[設定]をクリックしてください。
ただし、親機を初期化した場合は、「親子同時設定」をクリックしてください。
→親機底面に無線LAN設定ラベルがない場合は、「親子同時設定」をクリックしてください。
ただし、2台目以降の子機を増設するなど、親機の無線設定を変更しない場合は「設定」をクリックしてください。



手順③-5へ進む

親機との接続状態を確認する

サテライトマネージャのアイコンで、親機とWL54SC(無線LANカード)の通信状態を確認することができます。



親機との通信が確立できないときには「取扱説明書」(別冊)の「トラブルシューティング」を参照してください。

★本紙では、ホームゲートウェイやモ뎀(無線LANアクセスポイント)を「親機」、無線LANアダプタ機(WL54SC)を「子機」と呼びます。

ここではWindows Vista®のパソコンにWL54SC(無線LANカード)を接続してご使用になる場合を主な例に説明しています。

5 親機の設定に合わせて無線LANの設定を行い、「登録」をクリックする

●手順③-4で[設定]をクリックした場合 → ①で設定します。

●手順③-4で[親子同時設定]をクリックした場合 → ②で設定します。

I 子機のみ設定する場合

手順③-4で[設定]をクリックした場合の設定です。(→2台目以降の子機を増設するなど親機の無線設定を変更しない場合)
親機の無線設定に合わせて設定します。

※暗号化の設定を行う場合は、必ず親機側を先に設定してください。



- ① [ネットワーク名(SSID)] を入力します。
親機の設定に合わせてネットワーク名(SSID)を入力します。
手順③-3で使用するネットワーク名(SSID)を選択した場合はそのままにしておきます。
- ② [通信モード] を選択します。
インフラストラクチャ通信を選択します。
- ③ [暗号化] を設定します。
親機に設定している同じ内容を入力して設定します。
※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合は、ラベルの内容に合わせて設定します。
※入力した暗号化キーは忘れないように下記に記入しておくことをお勧めします。

記入欄

<暗号化キーの入力例>
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

II 親機も同時に設定する場合

手順③-4で[親子同時設定]をクリックした場合の設定です。

- ① [ネットワーク名(SSID)] を入力します。
使用するネットワークの名称を入力します。
手順③-3で使用するネットワーク名(SSID)を選択した場合はそのままにしておきます。
- ② [無線動作モード] を選択します。
ネットワーク内で使用する無線モードを[802.11g+b] [802.11g] [802.11n]から選択します。
はじめて無線LANを利用される場合は、[802.11g+b]をご利用ください。(推奨)
- ③ [チャネル番号] を選択します。
親機がネットワーク内で使用するチャネルを選択します。
- ④ [暗号化] を設定します。
【暗号化モード】で暗号化の方法を選択して、それぞれの項目を設定します。



■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)

■[暗号化モード] / 「WPA-PSK (AES)」(推奨)
※「暗号化モード」のフルダウンメニューに「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA-PSK (AES)」がない場合は、「WEP」を選択してください。

■[暗号化キー] / 8~63桁の英数記号または64桁の16進数で入力します。

※親機の底面に無線LAN設定ラベルがある場合、[暗号化モード]で「WPA-PSK (AES)」を選択すると、暗号化キーの欄に自動的に表示されますが、表示されたキーは消去して、入力してください。

※暗号化キーの入力例
親機の側面の主基板(貼付されているシール)の製造番号など。
(容易に解読されやすいキー[11111111]などはお勧めしません。)